

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 22日

事業所名 しあわせ駅原中央

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		重心型に変わり、定員が減ったためかなり広くなりました。	
	2	職員の配置数は適切である	○			新しい職員も加わった為、個々のレベルアップに努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差がある所はテープ等で色を変えるなどの配慮をしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		話し合いを適宜行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表をもとに改善点は話し合い、検討、改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			今後オンライン研修など活用し、研修の機会をより増やしていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的なアセスメントを行ったうえで、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		皆で担当を割り振り、活動プログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう、月毎の計画を明確にしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		1人1人に合わせた課題目標を設定して支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別・集団活動を適宜組み合わせ支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々朝礼、昼礼を行い、当日の支援内容を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎等の都合で終礼が出来ない日もあるが、翌日振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々、支援終了後に1人1人の活動記録をとっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自立・創作・交流・余暇、複数組み合わせ支援を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		適宜、情報共有に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		近隣に協力医療機関あり。	必要に応じて、主治医とも連携を図っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて、情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		コロナ禍ということもあり、機会がなかった。今後、受ける機会を得ていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		重心型のため、現在考えていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ禍ということもあり、参加の機会がなかった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に、日々の様子を共有している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後、ペアレント・トレーニングの理解を深め、取り入れていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		説明資料をわかりやすく工夫している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩みや困り事の相談があれば、出来るだけベストな提案が出来る様に努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍ということもあり、現在難しいと思われる。要望があった場合に開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情や問題が起こった際は、速やかに会議を行い、改善努力をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		連絡帳などで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護規定に基づき、十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		50音表や絵カードなどを取り入れる工夫をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍では開催は難しい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルの整備、職員間での共有を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、課題設定をしながら避難訓練を実施してしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回以上、研修機会を設けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、身体拘束の必要性のある利用児はいないが、マニュアルの整備・職員間への周知等は行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在対象となる児童はいないが、必要時には保護者様とご相談うえ対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		速やかに支援員会議を行い、再発防止に努めている。	